



つながれ つながれ 只見線



只見駅開業50周年記念イベントとして『50歳おめでとう！只見駅バースデーイベント』真夏の演芸会々々をJR只見駅前広場で8月17日に行いました。町、商工会、只見駅、観光まちづくり協会による実行委員会が主催で、イベントには町民の方をはじめ町外からも鉄道ファンなど大勢が詰め掛けました。

「食べてお祝い」として焼き肉コーナーや只見の名産品を使った料理、また沿線自治体のご当地料理の屋台が立ち並びました。「観て・遊んでお祝い」という事では大道芸やジャズ演奏の他、町民の方々による舞踊や歌謡落語が披露されました。ステージイベントではかき氷早食い大会や町内5店舗のマトンを食べて販売店を当てる「マトン ソムリエ大会」が行われました。町内5店舗を見極める事は難しく残念ながら全問正解者は出ませんでした。皆で楽しく只見駅開業50周年を祝う事が出来ました。



只見駅開業 2013.8.20

50周年記念式典

JR只見駅の開業50周年記念式典は、只見駅前広場で8月20日に行ないました。

あいにくの雨模様となりましたが、町民や鉄道ファン、沿線町村の関係者など約100名が出席され只見駅開業50周年を祝いました。

はじめに目黒町長が「只見線の活性化や地域の発展につながる式典にしたい」とあいさつすると、来賓の方々からは、只見線の早期全線復旧のため皆で力を合わせて取り組んで行きましようという声が上がりました。

その後は、只見駅50周年を祝うために用意された2つの特大ケーキに来賓の方々でケーキ入り刀し、カットされた記念ケーキは式典の出席者や町民の方々に振る舞われました。ケーキカットが終わる頃にはすっかりと雨も止み、この日の為に練習を重ねてきた只見保育所の子どもたちがお祝いの踊りと只見駅へのパースデーソングを披露してくれました。

「ハッピー パースデー ただみえき」と歌う子ども達の歌はとても可愛らしく式典の出席者からは思わず笑みがこぼれ、とても和やかな雰囲気の中記念式典は幕を閉じました。

地域で支える只見駅



只見区

只見区や只見ボランティアしゃくなげ会では、駅周辺の草刈りや花壇の手入れを毎年行なっています。また、NPO法人朝日助っ人クラブは只見駅開業50周年記念を前に駅周辺の美化活動を行いました。

このような地域の方々の協力により只見駅周辺の景観が綺麗に保たれています。



只見ボランティアしゃくなげ会



NPO法人朝日助っ人クラブ

記念品で振り返る只見駅の歴史



昭和38年の只見駅開業から8年が過ぎた昭和46(1971)年に只見線が全線開通しましたが、この記念に作成されたのが写真の鉛筆です。

42年前のこの貴重な記念品は東京都在住の尾花美恵子さんより送って頂いたものです。



只見駅50周年記念として作成された記念品手ぬぐい。この手ぬぐいは17日行なわれたバスデーイベントにお越し頂いた先着500名の方にプレゼントされました。



◀「只見駅50歳」をお祝いの為、一生懸命練習してきたダンスと歌を披露する只見保育所のよい子のみなさん

記念ケーキに入刀して50周年を祝う目黒町長(中央)や金山町の長谷川町長(右から2人目)ら



50周年記念事業を振り返って

只見駅バスデーイベント、50周年記念式典には本当に多くの方々に参加して頂きました。特にバスデーイベントには町外からも多くの方に参加して頂き非常にうれしく感じました。

依然としてJR只見線の全線再開通の見通しは立っていませんが、再開通に向けて今後も様々な取り組みを行い、また多くの皆さんで再開通を祝う日が来る事を望みます。